

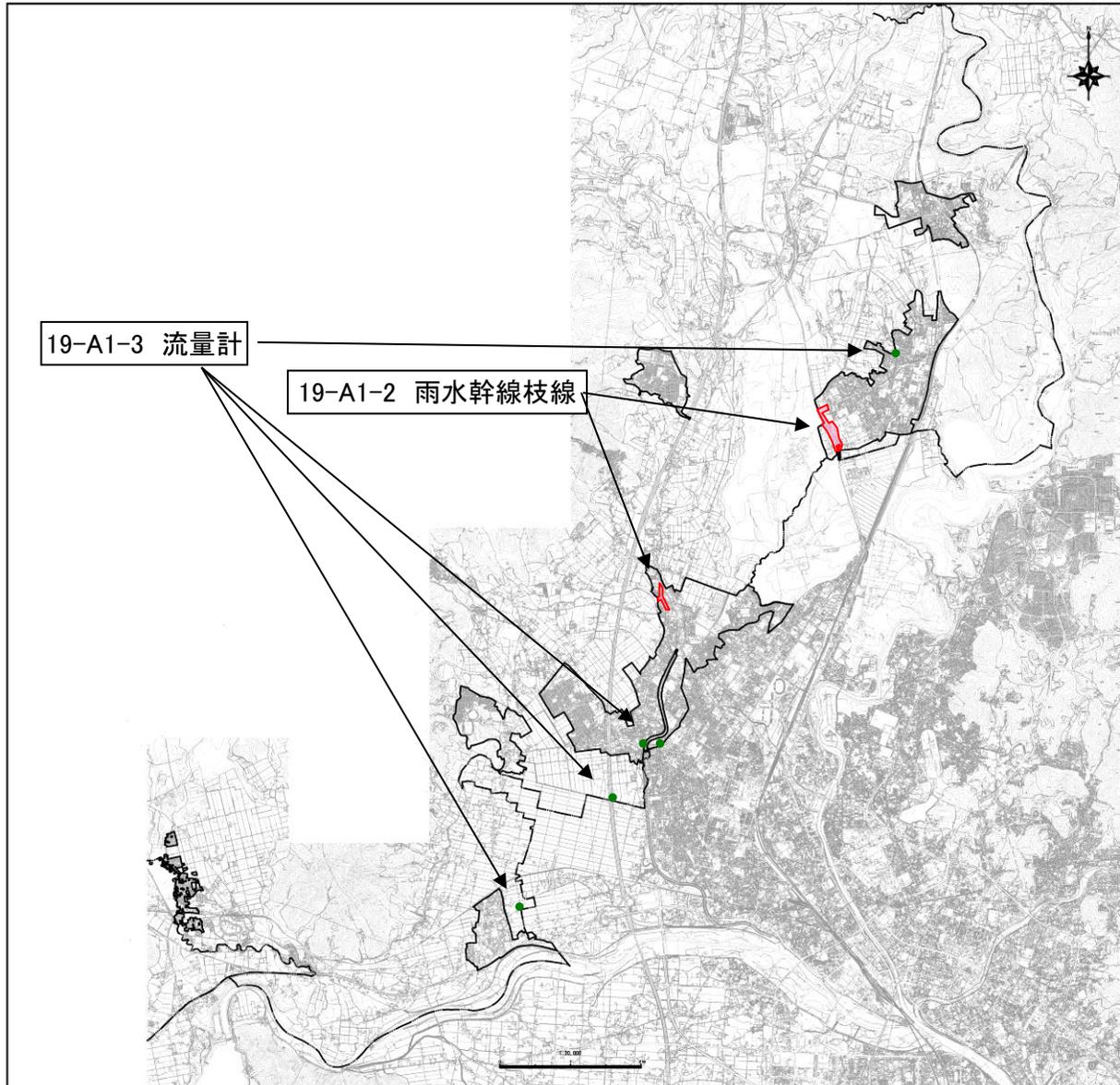
C 効果促進事業										上段：計画					下段：実施	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0			
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

その他関連する事業										上段：計画					下段：実施	
計画等の名称										滝沢市における循環のみちの実現					全体事業費 （百万円）	備考
事業種別		交付対象			要素となる事業名 （事業箇所）		市町村名									
19-A' 1-1	下水道		滝沢市		汚水幹線枝線（未普及対策）		滝沢市					549	防安移行元			
19-C' 1-1	下水道		滝沢市		汚水枝線整備（未普及対策）		滝沢市					401	防安移行元			
												75	防安移行元			
												15				
全体事業費		合計 (A'+B'+C')		624百万円	A'	549百万円	B'	0百万円	C'	75百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	7.0%				
				416百万円		401百万円		0百万円		15百万円		2.0%				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況										<ul style="list-style-type: none"> 雨水管渠整備を進めることにより、浸水被害の軽減を図ることが出来た。 流量計の更新を行い、管渠の長寿命化計画を策定したことで、下水道施設の持続的な施設の機能維持、ライフサイクルコストの最小化が図られる。 管渠の総合地震対策計画を策定し、今後耐震化を進めることで、地震時の安全度が向上する。
II 定量的指標の達成状況										
指標①（雨水管渠の整備率）	最終目標値	91%	目標値と実績値に差が出た要因	国道4号の拡幅に合わせ施工する箇所の調整に時間を要したこと及び入札不調等により計画的な事業実施が困難であったため。						
	2.0km / 2.2km									
	最終実績値	68%								
	1.5km / 2.2km									
	指標②（流量計の更新率）	最終目標値	71%		目標値と実績値に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことが出来た。				
		5箇所 / 7箇所								
	最終実績値	71%								
	5箇所 / 7箇所									
指標③（管渠における長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことが出来た。						
	1件 / 1件									
最終実績値	100%									
1件 / 1件										
指標④（管渠における総合地震対策計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		計画通り事業の実施を行うことが出来た。					
	1件 / 1件									
最終実績値	100%									
1件 / 1件										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
3. 特記事項（今後の方針等）										
<ul style="list-style-type: none"> 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 										

(参考様式3) (参考図面)

計画の名称	19 滝沢市における循環のみちの実現 (防災・安全)	交付対象	滝沢市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



19-A1-4 長寿命化計画
(事業計画区域全域)

19-A1-5 総合地震対策計画
(事業計画区域全域)

19-A1-3 流量計

19-A1-2 雨水幹線枝線

凡例

- 行政区域
- 事業計画区域
- 幹線
- 枝線整備
- 流量計

整備予定箇所の色分け

- 新設 (赤)
- 改築 (緑)

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 19 滝沢市における循環のみちの実現(防災・安全)

市町村名: 滝沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1) 都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。	○
2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ)	○
3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。	○
②目標値および内容の妥当性	
1) 計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合)	
2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 <div style="font-size: small; margin-top: 5px;"> 該当するものに○ ・○施設の長寿命化対策 ・○浸水対策 ・汚泥処理施設 ・合流改善 ・処理場の増設 ・○地震対策 </div>	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
2) 河川等の水質改善に効果がある。	○
3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。	○
2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	○
3) 継続的な汚水処理(雨水処理)の展開が見込まれる。	○
4) 地域の実状に応じた計画になっている。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
3) 下水道法の事業認可を取得している。	○